

① 東アジアと日本
—大陸から日本を見た歩道図—

地図をみる目
大陸から日本に渡るには船しかなかった
むかしても、時代によってさまざまなルート
があったことに着目しよう。



地図は語る



「東アジアと日本」(p.25~26)は、中国上空から日本を見た鳥瞰図です。本図を通して、地図を見る角度を変えただけで、地域の見え方が異なってきたり、隣接する大陸や海洋との位置関係についての新しい発見ができてきたりします。

本図で、大陸から見て日本海と東シナ海の対岸に日本列島があることが読み取れます。日本列島が大陸と太平洋の間に横たわっている島国である、という認識を深めることができるでしょう。

加えて、本図には遣唐使から朝鮮通信使までの交流ルートを記載しているのので、日本・朝鮮・中国・ロシアが、古くから貿易などの交流が盛んで

あったことがわかります。また、シルクロードを経て日本にもたらされた宝物など、共通して見られる文化も示しました。歴史の奈良時代・平安時代の学習における東アジア文化圏の形成の裏づけともなります。

地図帳のほかの地域・ページでも、北が上と決めつけずに地図をさまざまな角度に回転させることで、生徒の地理的認識、地図活用能力を高めることができるでしょう。
(帝国書院編集部)